

<多摩PRIDE 様>

上映日:2018/03/09(金) 場所:パルテノン多摩 小ホール(東京都多摩市)



お子様やお母さん、中高生、大学生、高齢者など多くの方にご来場いただきました。

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

映画を観た担当者が、所属する有志団体に「多摩で働く人や暮らしている人にこの映画を観て欲しい！」という想いだけで相談しました。メンバーは即決で開催を決めてくれました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

多摩市内の介護サービス事業所の有志が集まった熱い仲間たちです。多摩で働く事に誇りを持ってもらいたいという意味も込めて「多摩PRIDE」という名前にしました。

●協力の得られた団体はありましたか？

チラシと依頼文を作成し、直接お願いに行きました。医療法人や介護サービス事業所など16社からの協賛が得られました。

●資金はどのように捻出しましたか？

企画当初は持ち出しも予想していましたが、協賛各社のご協力もあり、協賛金ですべてをまかなう事が出来ました。これについては感謝しかありません。

●どのように告知をしましたか？

多摩PRIDEメンバーがチラシを手に各事業所を回りました。また、各専門職の勉強会等に出向きPRもしました。地域に対してはFacebookページを作成し「いいね！」や「シェア」をしてもらいながら広めていきました。また、RUN伴のイベント開催時でのPR等でもご案内させていただきました。

●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

当日は朝から降っていた雨もやみ、多くの方にご来場いただきました。お子様やそのお母さん、中学生や高校生、大学生等の学生、高齢者の方々もいらしてくれました。市内で働く介護職員をはじめ、医師やリハ職、看護師等も多くみられました。

多摩市役所でお勤めの方々もご参加いただき、お忍びで市長も観覧いただきました。

上映中は笑い声やすり泣き声が聞こえ、上映終了後は大きな拍手が鳴りやみませんでした。帰りの出口でお見送りしていると、沢山の方から「すごく良かった！」などのお言葉を頂きました。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

とにかく「この映画を多くの人に観て欲しい。そして語りたい！」という想いだけで開催を決めました。仲間にその想いを伝え続けることで観ていない人たちも乗り気になってくれました。やってみると意外に出来てしまいます。ぜひ輪を広げていきましょう！

ご担当者: 惣ト 清光さん

多摩PRIDE

多摩市介護保険事業者連絡協議会の理事を中心とし、“多摩市の介護を日本の介護のスタンダードにしよう”を旗印に事業所の枠を超えた地域介護医療連携を目指している有志の団体です。